

- 21) 浜中英樹, 横川雅康, 明元克司, 村上 新, 富川正樹, 上山武史: Extraanatomic bypass—手術適応と成績一. 第12回血管手術懇話会, 1989, 7, 金沢.
- 22) 明元克司, 美濃一博, 湖東慶樹, 鈴木 衛, 富川正樹, 上山武史: Lower limb stasis syndrome に対する手術経験. 第12回血管手術懇話会, 1989, 7, 金沢.
- 23) 村田修一, 丸岡秀範, 池谷朋彦, 広瀬淳雄, 牛島 聡, 若狭林一郎, 清崎克美, 平井 純: 上腕骨骨折に伴った急性上腕動脈閉塞症の2例. 第12回血管手術懇話会, 1989, 7, 金沢.
- 24) 村上 新, 辻本 優, 上山武史: Balloon valvuloplasty 後に大動脈弁置換術を施行した重症大動脈弁狭窄症例. 第9回富山循環不全治療研究会, 1989, 7, 富山.
- 25) 若狭林一郎, 広瀬淳雄, 丸岡秀範, 湖東慶樹, 牛島 聡, 村田修一, 清崎克美, 松井一裕, 北川正信: 食道平滑筋腫と思われる2例について. 第10回富山消化器病研究会, 1989, 10, 富山.
- 26) 山本雅巳, 鈴木 衛, 湖東慶樹, 笠島 学, 津田基晴, 山本恵一, 松井一裕: 特異な症状(重症低蛋白血症, 腹部巨大腫瘤等)を呈した高齢者結腸癌の1例. 第10回富山消化器病研究会, 1989, 10, 富山.
- 27) 長谷川洋, 佐々木正寿, 木元文彦, 魚津幸蔵, 関川 博, 山本脩治, 宮山士朗, 松原隆夫, 荒木一郎: 胃癌の副腎転移による大量出血を来したと思われる一症例. 第10回富山消化器病研究会, 1989, 10, 富山.
- 28) 善田貴裕, 荒木一郎, 吉田 誠, 楠 憲夫, 佐々木正寿, 木元文彦, 魚津幸蔵, 長谷川洋, 関川博, 山本脩治, 宮山士朗: 腫瘤形成型肺炎の一例. 第10回富山消化器病研究会, 1989, 10, 富山.
- 29) 鈴木 衛, 横川雅康, 明元克司, 富川正樹, 上山武史: Lipo-PGE₁ による組織酸素分圧の変動について. 第2回東海プロスタグランジン臨床応用研究会, 1989, 10, 名古屋.
- 30) 林 隆一: 富山医科薬科大学における総合医療情報システム. 医療情報システムセミナー, 1989, 10, 静岡.
- 31) 山本恵一, 津田基晴, 山本雅巳, 笠島 学, 鈴木 衛, 大場泰良, 湊 浩志, 稲田章夫, 永野達夫, 北川鉄人: OK-432 術後長期投与を行った大腸癌の2症例. 第4回富山腫瘍免疫研究会, 1989, 11, 富山.
- 32) 上山武史: 動脈閉塞性疾患治療の現況. 富山

- 県病院薬剤師会, 1989, 11, 富山.
- 33) 東出慎治, 杉山茂樹, 笠島 学, 西出良一, 辻本 優, 池谷朋彦, 宮本直樹, 山本雅巳, 宇崎崎泰弘, 鈴木 衛, 津田基晴, 山本恵一, 安西吉行: 肺海綿状血管腫の1例. 第22回北陸呼吸器疾患懇話会, 1989, 11, 富山.
- 34) 鈴木 衛, 横川雅康, 明元克司, 富川正樹, 上山武史: リポ PGE₁ による下肢経皮酸素分圧の変動. 富山プロスタグランジン治療懇話会, 1989, 12, 富山.
- 35) 古野利夫, 龍村俊樹, 辻本 優, 小山信二, 西出良一, 東出慎治, 杉山茂樹, 津田基晴, 山本恵一: 制癌剤の局所投与法に関する諸検討. 第14回制癌問題研究会, 1989, 12, 福井.
- 36) 林 隆一: 富山医薬大病院情報システムの設計概念. 新医療, 16(7): 72-77, 1989.
- 37) 林 隆一, 日合三雄, 石田達樹, 数井 進, 本田 了, 水越鉄理: 病院職員に対する哲蒙活動とコンピューター研修. 昭和63年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議総会医療情報システムシンポジウム演題抄録集: 57-60, 1989.
- 38) 林 隆一, 日合三雄, 石田達樹, 市村昇一, 佐藤邦男: 外来再診予約システムの設計. 昭和63年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議総会医療情報システムシンポジウム演題抄録集: 49-52, 1989.

外 科 学 (2)

教 授	藤 卷 雅 夫
助 授	田 沢 賢 次
講 師	唐 木 芳 昭
講 師	山 下 芳 朗
助 手	坂 本 隆 三
助 手	笠 木 德 明
助 手	山 田 市 郎
助 手	穂 苅 伯 俊
助 手	佐 藤 博
助 手	加 藤 早 苗
文部技官	広 田 早 苗

◆ 著 書

- 1) 藤卷雅夫: 食道手術の実技, b. 左半結腸, 横行結腸. 「食道手術のすべて」下巻, 348-359, 金原出版. 東京, 1988.

◆ 原 著

- 1) 藤卷雅夫, 唐木芳昭, 坂本 隆, 山田 明, 小

- 田切治世, 島崎邦彦, 吉田真佐人, 穂苅市郎, 加藤 博, 中村 潔, 沢田石 勝, 斎藤光和, 増山喜一, 石沢 伸, 山下 巖, 田沢賢次: 胸部食道癌切除術—とくに再建先行手術について—. 外科治療 58(3): 264-273, 1988.
- 2) 藤巻雅夫, 唐木芳昭: 胸部食道癌手術: 細身の犬弯側胃管を用いる再建先行術式. 消化器外科 11(4): 397-407, 1988.
 - 3) 藤巻雅夫, 小田切治世, 山田 明, 島崎邦彦, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次: 食道癌最近の治療. 綜合臨床 37(11): 2715-2716, 1988.
 - 4) 藤巻雅夫, 笠木徳三, 田沢賢次, 前田正敏, 本田 昂: BRM(OK-432 medium chain triglyceride-emulsion)の経口投与と肝転移抑制. 日本DDS学会誌 4(4): 276-280, 1989.
 - 5) Tazawa K., Takemori S., Yamashita I., Katoh H., Kasagi T., Saitoh T., Saitoh M., Yamamoto K., Katsuyama S., Maeda M., Honda T., Kimura E. and Fujimaki M.: Submicron implant heating. Intracellular hyperthermia by fixated submicron particle exciting in inductive field of 500 KHz. HYPERTHERMIC ONCOLOGY 1: SUMMARY PAPERS 869-871, 1988.
 - 6) 田沢賢次, 竹森 繁, 広川慎一郎, 山本克弥, 新井英樹, 笠木徳三, 勝山新弥, 鈴木康将, 藤巻雅夫, 金本郁夫, 堀越 勇: 坐剤の剤形別投与における局所麻酔と腰椎麻酔の影響—直腸吸収挙動と体内動態の推移—. 日本大腸肛門病学会雑誌 42: 1158-1162, 1989.
 - 7) 田沢賢次, 笠木徳三, 勝山新弥, 山本克弥, 新井英樹, 島田一郎, 竹森 繁, 藤巻雅夫, 松本生子, 水口志賀子, 島端久美子, 江川アツ子: 各種皮膚保護剤のpH値と貼用時における皮膚表面pH値とその変化. 日本ストーマ学会誌 5: 39-45, 1989.
 - 8) 田沢賢次: スキンケア I 皮膚保護剤の役割—ストーマ周囲皮膚管理における皮膚保護剤の役割とその方向—. ストーマケア実践テクニックIV 東京衛材研究所 1-7, 1989.
 - 9) 島端久美子, 水口志賀子, 安田智美, 安部紀子, 加藤尚子, 佐竹純子, 江川アツ子, 田沢賢次, 笠木徳三: 手術創に使用したときの皮膚保護剤の効果について. 日本ストーマ学会誌 5(1): 11-15, 1989.
 - 10) 吉川隆造, 五十嵐正利, 田沢賢次: 各種皮膚保護剤が皮膚に及ぼす物理的刺激的比較. 日本ストーマ学会誌 5(1): 23-28, 1989.
 - 11) 唐木芳昭, 藤巻雅夫, 加藤 博, 島崎邦彦, 中村 潔, 穂苅市郎, 山田 明, 小田切治世, 坂本隆: Blunt Dissection (Transhiatal Resection). 臨床外科 44(7): 941-945, 1989.
 - 12) 真保 俊, 加藤 博, 斎藤光和, 斎藤智裕, 清水哲朗, 小田切治世, 田沢賢次, 藤巻雅夫: ヒト食道癌培養株を用いた温熱療法の基礎的検討とその臨床応用. 癌と化学療法 16(4): PART II, 1899-1904, 1989.
 - 13) 坂本 隆, 大上英夫, 森永秀夫, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 田近貞克, 荒尾正見: ショック症例に対する Methylprednisolone (注射用メプレドロン)の使用経験. 診療と新薬 26: 419-422, 1989.
 - 14) 笠木徳三, 田沢賢次, 山下 巖, 石沢 伸, 増山喜一, 藤巻雅夫, 前田正敏, 本田 昂: 消化器癌の肝転移再発に対する予防法の研究. 日本消化器外科学会雑誌 22(10): 2364-2370, 1989.
 - 15) 山田 明, 田中三千雄, 藤巻雅夫: 超音波内視鏡の現況と将来. 消化器内視鏡 1(6): 817-824, 1989.
 - 16) 山田 明, 島崎邦彦, 小田切治世, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 早期, 表在食道癌切除23例の臨床病理学的検討. 日本消化器外科学会雑誌 22(9): 2176-2182, 1989.
 - 17) 吉田真佐人, 田近貞克, 島崎邦彦, 山田 明, 笠木徳三, 小田切治世, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 堀越 勇: 高カロリー輸液及び経腸栄養施行時の腸管血流に関する実験的検討. 日本静脈経腸栄養研究会誌 4: 252-255, 1989.
 - 18) 沢田石 勝, 唐木芳昭, 川口 誠, 斎藤光和, 佐伯俊雄, 山田 明, 島崎邦彦, 宗像周二, 坂本隆, 真保 俊, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 食道粘膜のルゴール染色性の機序の検討. 日本気管食道科学会会報 40(3): 252-257, 1989.
 - 19) Tauchi K., Hori S., Itoh H., Osamura R. Y., Tokuda Y. and Tajima T.: Immunohistochemical studies on oncogene products (c-erbB-2, EGFR, c-myc) and estrogen receptor in benign and malignant breast lesions—with special reference to their prognostic significance in carcinoma. Virchows Archiv [A] 416: 65-73, 1989.
 - 20) Tauchi K. and Osamura R. Y.: Immunohistochemical studies on oncogene products in breast cancer. Pathology Research and Practice 185: 159, 1989 (Abstract).

- 21) 山本克弥, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 坂本憲市, 小西健一: 生菌製剤の抗腫瘍活性に関する研究. 腫瘍と感染 2(4): 245-249, 1989.
- 22) 山本克弥, 田沢賢次, 山下 巖, 黒木嘉人, 岡本政広, 勝山新弥, 竹森 繁, 新井英樹, 鈴木康将, 笠木徳三, 藤巻雅夫, 坂本憲市, 小西健一: 大腸腫瘍発生の予防的研究 (I 報) — Azoxymethane (AOM) 誘発大腸腫瘍に対する 3 種生菌の効果 —. 消化器癌の発生と進展 1: 249-252, 1989.
- 23) 山本克弥, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 坂本憲市, 小西健一, 森永信一: 生菌製剤の抗腫瘍活性に関する研究. BIOTHERAPY 3(1): 416-419, 1989.
- 24) 山下 巖, 川腰利之, 田沢賢次, 増山喜一, 笠木徳三, 前田正敏, 本田 昂, 落合 宏, 藤巻雅夫: レンチナン包埋リポソームの肝転移抑制効果 (第 2 報) — 予防的投与の有用性 —. BIOTHERAPY 3(4): 851-855, 1989.
- 25) 山下 巖, 田沢賢次, 笠木徳三, 増山喜一, 黒木嘉人, 山本克弥, 勝山新弥, 前田正敏, 川腰利之, 本田 昂, 藤巻雅夫: ラット AOM 誘発大腸腫瘍発現に対する OK-432-MCT-Emulsion 経口投与の抑制効果 — 脾臓, 腸管膜リンパ節, 腹腔浸出細胞の NK 活性の増強 —. BIOTHERAPY 3(1): 369-372, 1989.
- 26) 山下 巖, 田沢賢次, 藤巻雅夫: ラット azoxymethane 誘発実験大腸腫瘍発現および増殖に対するインドメタシンおよびプロスタグランジン E₂ 経直腸投与の効果. 日本消化器病学会雑誌 86(7): 1438-1447, 1989.
- 27) 山下 巖, 田沢賢次, 笠木徳三, 石沢 伸, 増山喜一, 山本克弥, 新井英樹, 竹森 繁, 勝山新弥, 鈴木康将, 藤巻雅夫: アゾキシメタン誘発ラット大腸腫瘍発現に対する経直腸のインドメタシン投与の抑制効果 — NK 活性の増強および経口投与との比較 —. 日本大腸肛門病学会雑誌, 42(3): 346-351, 1989.
- ◆ 症例報告
- 1) 金 良政, 星野 清, 水島 豊, 加藤弘巳, 坂本 隆, 矢野三郎: 消化管穿孔を合併したアレルギー性肉芽腫性血管炎 (AGA) 症例の臨床的検討 — 1 自験例と本邦報告例の集計 —. アレルギー 38: 1173-1179, 1989.
- 2) 宗像周二, 饗場松年, 大西雄太郎, 宮林千春, 四柳閑郎, 石井壽晴, 南村哲司, 新保雅宏, 唐木芳昭, 藤巻雅夫: 扁平隆起型早期大腸癌と早期多発胃癌の同時性重複癌の 1 例. ENDOSCOPIC FORUM for digestive disease. 5(2): 253-257, 1989.
- 3) 川西孝和, 魚谷英之, 勝木茂美, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: ステロイド服用患者にみられた S 状結腸穿孔性腹膜炎の 1 例. 腹部救急診療の進歩 9(6): 1005-1007, 1989.
- 4) 清水哲朗, 加藤 博, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 松井 裕, 北川正信, 阿部要一, 猪股成美: 肛門 Paget 病変を伴う肛門癌の 1 例. 日本臨床外科医学会雑誌 50(8), 1606-1611, 1989.
- 5) 田沢賢次, 笠木徳三: 大腸悪性リンパ腫 2 上行結腸. 日本大腸肛門病学会雑誌 42(7): 1139, 1989.
- 6) 勝木茂美, 唐木芳昭, 宗像周二, 石沢 伸, 川西孝和, 新井英樹, 佐伯俊雄, 小田切治世, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 山崎国夫, 矢崎明彦, 若木邦彦, 岡田英吉: 乳房に腫瘤を形成した悪性リンパ腫の 1 例 — 乳腺原発悪性リンパ腫本邦報告例 121 例についての集計 —. 日本臨床外科医学会雑誌 50(5): 907-914, 1989.
- 7) 榊原年宏, 麓 耕平, 中野 護, 唐木芳昭, 藤巻雅夫: 重複胆嚢の 1 例. 臨床外科 44(2): 279-282, 1989.
- 8) 山下 巖, 加藤 博, 田沢賢次, 坂本 隆, 黒木嘉人, 穂苅市郎, 吉田真佐人, 島崎邦彦, 山田明, 笠木徳三, 小田切治世, 唐木芳昭, 藤巻雅夫: 温熱化学放射線療法に著効を示した進行頸部食道癌の 1 例. 日本消化器外科学会雑誌 22(7): 1855-1858, 1989.
- 9) 鄭 印龍, 佐藤慎吉, 田内克典, 大田嘉英, 森一郎, 覚道健一: 小児上顎洞悪性線維性組織球腫の 1 手術例. 病理と臨床 7: 901-905, 1989.
- ◆ 総 説
- 1) 藤巻雅夫, 山田 明: 盲係蹄症候群 V 術後合併症とその管理 [D 消化器系]. 消化器外科 12(6): 1010, 1989.
- 2) 藤巻雅夫, 坂本 隆: 噴門癌手術 (非開胸) IV 術式別にみた術前・術後管理. 消化器外科 12(6): 819-821, 1989.
- 3) 藤巻雅夫, 坂本 隆: 口腔・食道・横隔膜. 三島好雄, 森 昌造, 玉熊正悦, 小澤和恵, 杉町圭蔵編, 「外科学」365-370, へるす出版, 東京, 1989.
- 4) 藤巻雅夫, 唐木芳昭, 坂本 隆, 山田 明: 食道の良性疾患 — とくに食道平滑筋腫について —. 臨床胸部外科 8(4): 345-351, 1989.

◆ 学会報告

- 1) 藤巻雅夫：BRM(OK432-MCT-Emulsion)の経口投与と肝転移抑制。第5回DDS学会，1989，7，東京。
(シンポジウム“活性ペプチドのDDS”)
- 2) Fujimaki M., Sakamoto T.: Reconstruction after Total or Proximal Gastrectomy —Ileocolon Interposition—. XV National Congress of the Bolivian Society of Surgery 1989, 10, Cochabanba, Bolivia.
- 3) Fujimaki M., Katoh H., Tazawa K., Yamashita I. and Sakamoto T.: Combined Thermo-therapy for Inoperable Esophageal Carcinoma. The 4th World Congress of International Society for Diseases of the Esophagus. 1989,9, Chicago, U. S. A
- 4) 田沢賢次，笠木徳三，勝山新弥，山下 巖，石沢 伸，増山喜一，山本克弥，黒木嘉人，新井英樹，藤巻雅夫：直腸癌手術後の肝転移再発に対する Prophylactic Adjuvant Immuno-Therapy (PAIT). (ワークショップ) 第89回日本外科学会総会，1989，3，東京。
- 5) Karaki Y., Shimazaki K., Nakamura K., Katoh H., Hokari I., Yamada A., Yoshida M., Otagiri H., Sakamoto T. and Fujimaki M.: Effect of Hypergastrinemia in Chemical Carcinogenesis of Esophagus in Rats. The 4th World Congress of International Society for Diseases of the Esophagus. 1989, 9, Chicago, U. S. A
- 6) 唐木芳昭，宗像周二，佐伯俊雄，川西孝和，藤巻雅夫：一期的乳房再建術—術式と適応—第89回日本外科学会総会，1989，3，東京。
- 7) 唐木芳昭，佐伯俊雄，宗像周二，川西孝和，島多勝夫，藤巻雅夫：初発乳癌に対する一期的乳房再建術。第12回北陸乳癌懇話会，1989，12，金沢。
- 8) 山下芳朗，広川慎一郎，増子 洋，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫，村上巧啓，岡田敏夫：先天性気管狭窄症に対する肋軟骨移植術の経験。第18回日本小児科学会北陸地方会，1989，3，金沢。
- 9) 山下芳朗，広川慎一郎，増子 洋，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫：VATER 症候群を伴った気管無形成症。第228回新潟外科集談会，1989，4，新潟。
- 10) 丸山明夫，嶋尾 智，山下芳朗，広川慎一郎，増子 洋，嶋大二郎，宮崎あゆみ：VATER association の 2 例。第17回富山県小児科集談会1989，6，富山。
- 11) 山下芳朗，広川慎一郎，増子 洋，黒木嘉人，藤巻雅夫：鎖骨下静脈穿刺によるカテーテル挿入法。第17回富山県小児科集談会，1989，6，富山。
- 12) 山下芳朗，広川慎一郎，増子 洋，吉田真佐人，田近貞克，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫：小児に対する鎖骨下静脈穿刺法によるカテーテル留置。第16回北陸経静脈・経腸栄養研究会，1989，6，金沢。
- 13) 山下芳朗：排便異常の1症例。第7回小児科症例検討会。1989，11，富山。
- 14) 山下芳朗：認定医のための手術手技 鼠径ヘルニア。第33回手術手技研究会，1989，11，富山。
- 15) 山下芳朗，広川慎一郎，増子 洋，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫：出生後の腸重積により腸閉鎖を生じた新生児の1例。第229回新潟外科集談会，1989，12，新潟。
- 16) 田近貞克，森永秀夫，荒尾正見，吉田真佐人，藤巻雅夫：カテーテル敗血症症例の検討—真菌性眼内炎と真菌性椎間板炎を併発した1例を中心に—。第4回日本静脈・経腸栄養研究会，1989，2，札幌。
- 17) 田近貞克，柚木 透，荒尾正見：当科におけるカテーテル敗血症症例の検討(第2報)。第16回北陸経静脈・経腸栄養研究会，1989，6，金沢。
- 18) 田近貞克：富山県における消化性潰瘍穿孔。第7回富山救急医療研究会，1989，9，富山。
- 19) 阿部要一，白崎 功，斉藤文良，佐伯俊雄，穂苅市郎，霜田光義，沢田石 勝，勝木茂美，坂東正，津沢豊一，松井一裕：炎症性乳癌の1例。第228回新潟外科集談会，1989，4，新潟。
- 20) 坂本 隆，唐木芳昭，勝山新弥，増子 洋，斉藤文良，中村 潔，勝木茂美，山田 明，田沢賢次，藤巻雅夫：頸部食道癌に対する食道全摘，大弯側胃管による再建。日本外科系連合学会第14回学術集会，1989，6，大阪。
- 21) 坂本 隆，吉田真佐人，田近貞克，穂苅市郎，笠木徳三，鈴木修一郎，山田 明，加藤 博，山下芳朗，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫：高齢者(80歳以上)消化器癌症例の検討。第34回日本消化器外科学会総会。1989，7，久留米。
- 22) 坂本 隆，広川慎一郎，山田 明，勝木茂美，山下 巖，魚谷英之，黒木嘉人，増子 洋，鈴木修一郎，沢田石 勝，山岸文範，竹森 繁，笠木徳三，山下芳朗，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫：非外傷性小腸穿孔に対する術中内視鏡の応用。第13回日本腹部救急診療研究会，1989，9，金沢。
- 23) 宗像周二，南村哲司，新保雅宏，饗場松年，大西雄太郎，宮林千春，四柳閑郎，石井壽晴：扁平隆起性早期大腸癌と多発性早期胃癌の同時性重複

- 癌の1例。第26回日本消化器内視鏡学会甲信越地方会，1989，5，山梨。
- 24) 笠木徳三，田沢賢次，勝山新弥，山本克弥，竹森 繁，鈴木康将，藤巻雅夫，前田正敏，本田 昂：肝転移に対する予防的治療(6)—OK-432門脈内投与による被移植腫瘍細胞の形態学的観察。第48回日本癌学会総会，1989，10，名古屋。
- 25) 笠木徳三，田沢賢次，勝山新弥，山本克弥，竹森 繁，新井英樹，鈴木康将，藤巻雅夫，前田正敏，本田 昂：肝転移再発に対する予防的治療—OK-432門脈内投与による被移植腫瘍細胞の形態学的観察。第44回日本大腸肛門病学会総会，1989，11，東京。
- 26) 笠木徳三，田沢賢次，山下 巖，勝山新弥，山本克弥，竹森 繁，新井英樹，鈴木康将，坂本 隆，山下芳朗，唐木芳昭，藤巻雅夫，落合 宏：肝転移に対する予防的治療—OK-432門脈内投与による被移植腫瘍細胞の形態学的観察とorgan-associated NK 活性—。第4回富山腫瘍免疫研究会，1989，11，富山。
- 27) 鈴木修一郎，霜田光義，白崎 功，榎渕統一，桐山誠一，田沢賢次，藤巻雅夫：食道静脈瘤硬化療法における長期効果。第7回食道静脈瘤硬化療法研究会，1989，1，東京。
- 28) 鈴木修一郎，霜田光義，白崎 功，榎渕統一，桐山誠一，田沢賢次，藤巻雅夫：臍癌切除例における術中照射療法の効果。第33回日本消化器外科学会総会，1989，2，東京。
- 29) 鈴木修一郎，山田 明，島崎邦彦，霜田光義，白崎 功，榎渕統一，桐山誠一，田沢賢次，藤巻雅夫：食道静脈瘤に対するHassab手術—硬化療法併用療法の有用性。第34回日本消化器外科学会総会，1989，7，久留米。
- 30) 鈴木修一郎，桐山誠一，山田 明，島崎邦彦，山岸文範，白崎 功，霜田光義，田沢賢次，藤巻雅夫：胃静脈瘤に対する治療。第22回日本門脈圧亢進症研究会，1989，9，東京。
- 31) 鈴木修一郎，阿部要一，山岸文範，白崎 功，霜田光義，山田 明，榎渕統一，桐山誠一，坂本 隆，山下芳朗，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫，斉藤清二：腔内照射療法を行い比較的長期生存した胆管癌の1非切除例。第9回肝胆膵疾患研究会，1989，11，富山。
- 32) 島崎邦彦，唐木芳昭，中村 潔，加藤 博，穂苅市郎，山田 明，吉田真佐人，小田切治世，坂本 隆，田沢賢次，藤巻雅夫：ラットの実験食道腫瘍発生における高ガストリン血症の影響。第34回日本消化器外科学会総会，1989，7，久留米。
- 33) 島崎邦彦，唐木芳昭，藤巻雅夫：ラットの実験食道癌における高ガストリン血症の影響。第1回日本消化器癌発生研究会，1989，9，東京。
- 34) Yamada A., Karaki Y., Kato H., Hokari I., Shimazaki K., Otagiri H., Sakamoto T., Tazawa K. and Fujimaki M.: Efficiency of postoperative irradiation-combined therapy on patients with intra-thoracic esophageal carcinoma. The 5th Congress of the Japanese Section of the International Society for Diseases of the Esophagus. 1989, 5, Toyama, Japan.
- 35) 山田 明，中村 潔，加藤 博，吉田真佐人，島崎邦彦，小田切治世，坂本 隆，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫：食道癌術後の嚥下性肺炎の対策。第34回日本消化器外科学会総会，1989，7，久留米。
- 36) Yamada A., Fujimaki M., Nakamura K., Katoh H., Hokari I., Shimazaki K., Otagiri H., Sakamoto T., Karaki Y. and Tazawa K.: Esophageal reconstruction prior to esophagectomy for intrathoracic esophageal cancer. The 35th Annual Congress of the Japanese Section, 1989, 9, Tokyo, Japan.
- 37) 山田 明，上野雅晴，榊原年宏，坂本 隆，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫：色素封入W/O/W型リピオドールエマルジョンのリンパ節移行性。第11回癌とリンパ節研究会，1989，10，名古屋。
- 38) 吉田真佐人，田近貞克，島崎邦彦，山田 明，笠木徳三，小田切治世，山下芳朗，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫，堀越 勇：高カロリー輸液及び経腸栄養施行時の腸管血流に関する実験的検討。第4回日本静脈・経腸栄養研究会，1989，2，札幌。
- 39) 穂苅市郎，坂本 隆，山下 巖，清水哲朗，中村 潔，加藤 博，山田 明，島崎邦彦，吉田真佐人，小田切治世，宗像周二，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫：Stage IV食道癌の治療。第33回日本消化器外科学会総会，1989，2，東京。
- 40) 佐伯俊雄，唐木芳昭，前田正敏，宗像周二，川西孝和，藤巻雅夫，本田 昂，瀬戸 光：乳腺リンパ節シンチグラフィ及び詳細なリンパ流検索法のための基礎的研究—^{99m}Tc 標識微粒子活性炭の精度，有用性について—。第89回日本外科学会総会，1989，3，東京。
- 41) 加藤 博，中村 潔，穂苅市郎，吉田真佐人，山田 明，小田切治世，島崎邦彦，清水哲朗，東山考一，黒木嘉人，坂本 隆，唐木芳昭，田沢賢

- 次, 藤巻雅夫: 食道癌に対する非開胸食道切除術の適応と成績. 第43回食道疾患研究会, 1989, 6, 広島.
- 42) 加藤 博, 山下 巖, 斎藤智裕, 清水哲朗, 中村 潔, 穂苅市郎, 山田 明, 島崎邦彦, 小田切治世, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 切除不能進行食道癌, 再発食道癌に対する高温域温熱療法の試み. 第34回日本消化器外科学会総会, 1989, 7, 久留米.
- 43) 加藤 博, 清水哲朗, 山下 巖, 斎藤智裕, 竹森 繁, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 切除不能食道癌, 再発食道癌に対する温熱療法の検討—高温域温熱療法の試み—. 第27回癌治療学会総会, 1989, 10, 名古屋.
- 44) 加藤 博, 竹森 繁, 山下 巖, 清水哲朗, 斎藤智裕, 斎藤光和, 小田切治世, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 切除不能食道癌, 再発食道癌に対する温熱療法の検討—高温域温熱療法の試み—. 日本ハイパーサーミア学会第6回大会, 1989, 11, 東京.
- 45) 新井英樹, 坂本 隆, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 有茎平滑筋移植付加人工肛門造設術. 第33回日本消化器外科学会総会, 1989, 2, 東京.
- 46) 竹森 繁, 田沢賢次, 長江英夫, 山下 巖, 加藤 博, 笠木徳三, 前田正敏, 本田 昂, 藤巻雅夫: Hyperthermia における DDS の研究(1): 特に Dextran Magnetite (DDM) を用いる Inductive Heating について. 第5回日本DDS学会, 1989, 7, 東京.
- 47) 竹森 繁, 田沢賢次, 長江英夫, 山下 巖, 加藤 博, 笠木徳三, 前田正敏, 本田 昂, 藤巻雅夫: 癌細胞に対する Intracellular Hyperthermia の研究(V): (Dextran Magnetite を用いる Inductive Heating について). 第48回日本癌学会総会, 1989, 10, 名古屋.
- 48) 竹森 繁, 長江英夫, 田沢賢次, 山下 巖, 加藤 博, 笠木徳三, 前田正敏, 本田 昂, 藤巻雅夫: Dextran Magnetite (DDM) を用いる Inductive Heating について. 第6回日本ハイパーサーミア学会, 1989, 11, 東京.
- 49) 長江英夫, 竹森 繁, 田沢賢次, 山下 巖, 加藤 博, 笠木徳三, 前田正敏, 本田 昂, 藤巻雅夫: Inductive Heating における温熱療法剤としての Dextran Magnetite の特性について. 第48回日本癌学会総会, 1989, 10, 名古屋.
- 50) 勝山新弥, 笠木徳三, 田沢賢次, 竹森 繁, 山下 巖, 新井英樹, 山本克弥, 鈴木康将, 藤巻雅夫, 川腰利之, 前田正敏, 本田 昂: 肝転移に対する予防的治療. 第44回日本大腸肛門病学会総会, 1989, 11, 東京.
- 51) 川西孝和, 唐木芳昭, 宗像周二, 佐伯俊雄, 榊原年宏, 藤巻雅夫: 再発乳癌の治療経験. 第49回乳癌研究会. 1989, 2, 東京.
- 52) 川西孝和, 魚谷英之, 勝木茂美, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: ステロイド服用患者にみられたS状結腸穿孔性腹膜炎の1例. 第12回腹部救急診療研究会. 1989, 3, 札幌.
- 53) 川西孝和, 日野浩司, 藤田敏雄, 伊藤 博: 総胆管結石症における総胆管切開創一次縫合例の検討. 日本農村医学会新潟地方会第39回例会, 1989, 10, 長岡.
- 54) 川西孝和, 唐木芳昭, 佐伯俊雄, 榊原年宏, 増子 洋, 魚谷英之, 宗像周二, 藤巻雅夫: 男子乳腺悪性リンパ腫を含む4重複腫瘍の1例. 日本臨床外科医学会総会, 1989, 10, 神戸.
- 55) 霜田光義, 阿部要一, 日野浩司, 恵 以盛, 荒川謙二, 阿部二郎: 閉塞性黄疸をきたした十二指腸癌の一例. 第229回新潟外科集談会, 1989, 12, 新潟.
- 56) 広川慎一郎, 山下芳朗, 増子 洋, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 市田路子, 岡田敏夫: 先天性心疾患術後の右横隔膜弛緩症に対する経腹的重層術. 第18回日本小児外科学会北陸地方会, 1989, 3, 金沢.
- 57) 広川慎一郎, 中村 潔, 加藤 博, 穂苅市郎, 山田 明, 吉田真佐人, 島崎邦彦, 小田切治世, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 食道浸潤胃癌に対する左開胸開腹連続切開症例の検討. 第34回日本消化器外科学会総会, 1989, 7, 久留米.
- 58) 田内克典, 堀 貞明, 伊藤 仁, 長村義之, 徳田 裕, 久保田光博, 田島知郎: 乳癌患者における c-erbB-2 product の免疫組織化学と予後因子の比較—剖検例の検討—. 第9回腫瘍マーカー研究会, 1989, 10, 名古屋.
- 59) 田内克典, 長村義之, 徳田 裕, 久保田光, 田島知郎: 乳癌における c-erbB-2 product の免疫組織学的検討. 第48回日本癌学会総会, 1989, 10, 名古屋.
- 60) 田内克典: 乳癌における癌遺伝子産物の免疫組織学的検討(シンポジウム). 第24回富山医科薬科大学医学会学術総会, 1989, 12, 富山.
- 61) Osamura R. Y., Tauchi K., Hori S., Itoh H., Tokuda Y., Tajima T.: Immunohistochemical studies on oncogene products (c-erbB-2, EGF-receptor,

- c-myc) and estrogen receptors (er) in benign and malignant breast lesions. 78th annual Meeting of United States and Canadian Academy of Pathology, 1989, 3, San Francisco, California, U. S. A.
- 62) 田内克典, 堀 貞明, 伊藤 仁, 長村義之, 徳田 裕, 久保田光博, 田島知郎: 乳癌における癌遺伝子産物及び estrogen receptor (ER) の免疫組織学と予後因子の比較検討. 第78回日本病理学会総会, 1989, 3, 京都.
- 63) 覚道健一, 田内克典, 幕内博康, 三富利夫: 基底細胞癌型(Basaloid pattern)浸潤形式をとる食道癌症例の検討. 第78回日本病理学会総会, 1989, 3, 京都.
- 64) Tauchi K. and Osamura R. Y.: Immunohistochemical studies on oncogene products in breast cancers. 12th European Congress of Pathology, 1989, 9, Porto, Portugal.
- 65) Tauchi K., Kakudo K. and Watanabe K.: Superficial esophageal carcinoma. A report of 49 cases. 12th European Congress of Pathology, 1989, 9, Porto, Portugal.
- 66) 坂本憲市, 森永信一, 小西健一, 山本克弥: *Eubacterium lentum* の抗腫瘍活性について. 第1回富山癌治療懇話会, 1989, 5, 富山.
- 67) 坂本憲市, 小西健一, 山本克弥: *E. lentum* の抗腫瘍活性. 昭和63年度北陸腸内細菌研究会, 1988, 6, 富山.
- 68) 坂本憲市, 森永信一, 小西健一, 山本克弥, 水島 豊, 越村三郎: *Eubacterium lentum* (TYH-11)によるマクロファージの活性化. 第47回日本癌学会総会, 1988, 9, 東京.
- 69) 坂本憲市, モハマド・ハッタ, 小西健一, 山本克弥, 森永信一: 腸内細菌の抗腫瘍活性に関する研究(第13報) *Eubacterium lentum* (TYH-11)の抗腫瘍活性機序の検討(その4). 第25回日本細菌学会中部支部総会, 1988, 10, 岐阜.
- 70) 山本克弥, 勝山新弥, 竹森 繁, 中嶋良作, 新井英樹, 鈴木康将, 笠木徳三, 坂本 隆, 田沢賢次, 藤巻雅夫: イレウスが発見の契機となった大腸癌症例の検討. 第30回大腸癌研究会, 1989, 2, 東京.
- 71) 山本克弥, 田沢賢次, 霜田光義, 山下 巖, 勝木茂美, 勝山新弥, 竹森 繁, 鈴木康将, 笠木徳三, 藤巻雅夫, Upali Pilapitiya: クシャラ・ストラ (Ayurvedic treatment) による痔瘻の治療(II報) — 隅腰分類III型に対する治療 —. 第34回日本消化器外科学会総会, 1989, 7, 久留米.
- 72) 山本克弥, 田沢賢次, 山下 巖, 黒木嘉人, 岡本政広, 勝山新弥, 竹森 繁, 新井英樹, 鈴木康将, 笠木徳三, 藤巻雅夫, 坂本憲市, 小西健一: 大腸腫瘍発生の予防的研究 (I報) — AOM誘発大腸腫瘍に対する3種生菌の効果 —. 第1回日本消化器癌発生研究会, 1989, 9, 東京.
- 73) 山本克弥, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 坂本憲市, 小西健一: Azoxymethane(AOM)誘発大腸腫瘍に対する3種生菌の効果. 第48回日本癌学会総会, 1989, 10, 名古屋.
- 74) 山本克弥, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 坂本憲市, 小西健一: AOM誘発大腸腫瘍に対する3種生菌の効果(第II報) — 腸内細菌叢の変化について —. 第26回日本細菌学会中部支部総会, 1989, 11, 富山.
- 75) 山本克弥, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 坂本憲市, 小西健一: Azoxymethane誘発大腸腫瘍に対する3種生菌(*S. faecalis*, *B. mesentericus*, *C. butyricum*)の効果. 第44回日本大腸肛門病学会総会, 1989, 11, 東京.
- 76) 山本克弥, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 坂本憲市, 小西健一: NK活性に及ぼす *S. faecalis*, *B. mesentericus*, *C. butyricum* の影響. 第2回JBRM学術集会総会, 1989, 11, 東京.
- 77) 山本克弥, 勝山新弥, 竹森 繁, 新井英樹, 鈴木康将, 笠木徳三, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 当教室におけるクローン病4例の検討. 第5回北陸大腸疾患研究会, 1989, 12, 福井.
- 78) 坂本憲市, 山本克弥, モハマド・ハッタ, 小西健一: 腸内細菌の抗腫瘍活性に関する研究(第14報). 日本細菌学会総会, 1989, 3, 東京.
- 79) 坂本憲市, 森永信一, 小西健一, 山本克弥: *Eubacterium lentum* (TYH-11)株のLewis lung carcinoma肺転移抑制効果について. 第2回富山癌治療懇話会, 1989, 5, 富山.
- 80) 坂本憲市, 森永信一, 小西健一, 山本克弥: *Eubacterium lentum* の腫瘍肺転移抑制作用. 平成元年度北陸腸内細菌研究会, 1989, 6, 富山.
- 81) 坂本憲市, 小西健一, 山本克弥: 細菌障害性 T cell の誘導に及ぼす *Eubacterium lentum* (TYH-11) の影響. 第48回日本癌学会総会, 1989, 10, 名古屋.
- 82) 坂本憲市, 島田 薫, Mochammad Hatta, 小西健一, 山本克弥: 腸内細菌の抗腫瘍活性に関する研究(15報) — *Eubacterium lentum* (TYH-11) によるCTL誘導について —. 第26回日本細菌学会中部支部総会, 1989, 11, 富山.
- 83) 坂本憲市, 山本克弥: *Eubacterium lentum*

- (TYH-11) の Lewis lung carcinoma の肺転移の抑制効果. 第2回 JBRM 学会学術集会総会, 1989, 11, 東京.
- 84) 清水哲朗, 加藤 博, 小田切治世, 真保 俊, 沢田石 勝, 斎藤智裕, 斎藤光和, 田沢賢次, 藤巻雅夫: ヌードマウス可移植性ヒト胆管癌株 CHGS 株の生物学的特性とマイトマイシン C (MMC) に対する治療効果. 第48回日本癌学会総会, 1989, 10, 名古屋.
- 85) 清水哲朗, 鈴木修一郎, 桐山誠一, 岡本政広, 山下 巖, 竹森 繁, 加藤 博, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 進行膵癌に対する術中放射線照射療法, 温熱療法の試み. 第6回日本ハイパーサーミア学会, 1989, 11, 東京.
- 86) 斎藤光和, 山田 明, 穂苅市郎, 榎原年宏, 黒木嘉人, 藤川卓爾, 野村直樹, 安斉 裕, 坂本隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 頭頸部腫瘍症例に対する上部消化管内視鏡検査の意義について. 第54回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1989, 12, 金沢.
- 87) 勝木茂美, 唐木芳昭, 小田切治世, 榎原年宏, 藤巻雅夫, 麓 耕平, 増田信二, 北川正信: 胃小細胞癌の1例. 第212回北陸外科学会, 1989, 2, 金沢.
- 88) 勝木茂美, 深町信一, 小林 肇, 岡住慎一: 術後の腸管膜癒着が原因と思われた上腸間膜動脈機械的閉塞症の1例. 第206回日本消化器病学会関東地方会, 1989, 9, 所沢.
- 89) 勝木茂美, 深町信一, 小林 肇: ウナギ摂取による食中毒が原因と思われる急性腎不全の1治験例. 第207回日本消化器病学会関東地方会, 1989, 12, 横浜.
- 90) 勝木茂美, 深町信一, 小林 肇, 岡住慎一, 春日 正: 胃外発育をきたした胃平滑筋腫の1例. 第3回成医会柏支部例会, 1989, 12, 柏.
- 91) 勝木茂美, 深町信一, 小林 肇: 陰囊に生じた巨大粉瘤の1例. 第735回外科集談会, 1989, 12, 東京.
- 92) 勝木茂美, 深町信一, 小林 肇, 岡住慎一: 胃外型発育をきたした胃平滑筋腫の1例. 第808回千葉医学会例会, 1989, 12, 千葉.
- 93) 榎原年宏, 山田 明, 中村 潔, 加藤 博, 穂苅市郎, 吉田真佐人, 島崎邦彦, 小田切治世, 坂本隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 胃悪性リンパ腫4例の治療経験. 第52回胃癌研究会, 1989, 2, 熊本.
- 94) 榎原年宏, 唐木芳昭, 魚谷英之, 井原祐司, 山岸文範, 増子 洋, 竹森 繁, 中嶋良作, 新井英樹, 島崎邦彦, 宗像周二, 小田切治世, 坂本隆, 藤巻雅夫: 胃切除後逆流性食道炎に対する再手術の経験. 第33回日本消化器外科学会総会, 1989, 2, 東京.
- 95) 榎原年宏, 古谷田裕久, 石黒義久, 平賀統一: ヒトのグリシン脱炭酸酵素遺伝子の部分構造. 第62回日本生化学会, 1989, 11, 京都.
- 96) 黒木嘉人, 山田 明, 中村 潔, 加藤 博, 穂苅市郎, 島崎邦彦, 小田切治世, 坂本隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 食道癌術後に発生した難治性吻合部狭窄の治療. 第8回北陸頭頸部腫瘍懇話会, 1989, 7, 福井.
- 97) 黒木嘉人, 坂本隆, 鈴木修一郎, 桐山誠一, 山岸文範, 沢田石 勝, 穂苅市郎, 加藤 博, 山田 明, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: セオスニン負荷による胃切除後の胆嚢収縮機能の検討. 第6回日本胆膵生理機能研究会, 1989, 9, 久留米.
- 98) 黒木嘉人, 坂本隆, 鈴木修一郎, 沢田石勝, 穂苅市郎, 加藤 博, 山田 明, 吉田真佐人, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 胃切除後の胆嚢収縮機能の検討. 第2回胃術後障害研究会, 1989, 11, 東京.
- 99) 島多勝夫, 中坪直樹, 伊井 徹, 浦出雅昭, 大堀 功, 高森正人, 高嶋 達, 黒田吉隆, 辻 政彦: 腸管膜リンパ節転移による上腸管膜動脈症候群と思われる肺癌の一例. 第212回北陸外科学会, 1989, 2, 25, 金沢.
- 100) 島多勝夫, 唐木芳昭, 佐伯俊雄, 川西孝和, 榎原年宏, 黒木嘉人, 宗像周二, 藤巻雅夫: 2.1~3.0cm乳癌症例の郭清範囲の検討. 第11回北陸乳癌懇話会, 1989, 6, 金沢.
- 101) 島多勝夫, 唐木芳昭, 佐伯俊雄, 川西孝和, 宗像周二, 藤巻雅夫: 初発乳癌縮小手術の適応と一期的乳房再建術の検討. 第25回中部外科学会総会, 1989, 9, 名古屋.
- 102) 島多勝夫, 黒木嘉人, 榎原年宏, 沢田石 勝, 加藤 博, 穂苅市郎, 山田 明, 坂本隆, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 当科における Borrmann 4 型胃癌の検討. 第43回北陸医学会総会, 1989, 9, 金沢.
- 103) 山下 巖, 山田 明, 黒木嘉人, 榎原年宏, 加藤 博, 島崎邦彦, 小田切治世, 坂本隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 早期胃癌140例のリンパ節転移と脈管侵襲について. 第212回北陸外科学会, 1989, 2, 金沢.

- 104) 山下 巖, 三浦二三夫, 白崎 功, 斎藤文良, 斎藤壽一: 痔瘻に対する Kshara-Sutra の使用経験 (第2報). 第8回庄内医師集談会, 1989, 11, 酒田.
- 105) 東山考一, 梨本 篤, 佐々木寿英, 赤井貞彦, 加藤 清, 佐野宗明, 筒井光広: 高齢者胃癌 (80才以上) の外科治療上の問題点. 第229回新潟外科集談会, 1989, 12, 新潟.
- 106) 増子 洋, 山下芳朗, 広川慎一郎, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 島田雅子, 嶋尾 智, 岡田敏夫: 超未熟児 (951g) の生後102日目に発症した肥厚性幽門狭窄症例. 第18回日本小児外科学会北陸地方会, 1989, 3, 金沢.
- 107) 野村直樹, 鈴木修一郎, 山田 明, 島崎邦彦, 山岸文範, 白崎 功, 霜田光義, 桐山 誠一, 榎渕統一, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 月城孝志, 青山圭一: 胃静脈瘤の治療. 第10回富山消化器病研究会総会, 1989, 10, 富山.
- 108) 安斉 裕, 中村 潔, 笠木徳三, 榎渕統一, 坂本 隆, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 松井俊一郎, 横田 力: 亜選択的持続動注化学療法が有効であった根治手術不能胃癌の1例. 第14回制癌問題研究会, 1989, 12, 福井.
- 109) 山岸文範, 桐山誠一, 鈴木修一郎, 霜田光義, 白崎 功, 榎渕統一, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 主膵管の限局性狭窄を伴った胆石症の2例. 第25回中部外科学会総会, 1989, 9, 名古屋.
- 110) 山岸文範, 鈴木修一郎, 白崎 功, 増子 洋, 東山考一, 勝山新弥, 坂本 隆, 山下芳朗, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 経皮経肝胆嚢ドレナージ後一過性に低血圧を来した急性胆嚢炎症例. 第13回日本腹部救急診療研究会, 1989, 9, 金沢.
- 111) 藤川卓爾, 勝木茂美, 笠木徳三, 田沢賢次, 藤巻雅夫: ラバーバンド結紮術. 第2回北陸肛門疾患懇話会, 1989, 9, 金沢.
- 112) 島田一郎, 田沢賢次, 新井英樹, 勝山新弥, 山本克弥, 勝木茂美, 笠木徳三, 坂本 隆, 藤巻雅夫: 手術創に対するカラヤドレッシングの貼附について. 第6回日本ストーマリハビリテーション研究会, 1989, 2, 東京.
- 113) 斎藤智裕, 真保 俊, 斎藤光和, 清水哲朗, 加藤 博, 小田切治世, 田沢賢次, 藤巻雅夫: ヒト食道癌培養細胞株5株の樹立とその性状. 第7回ヒト細胞研究会, 1989, 8, 東京.
- 114) 斎藤智裕, 真保 俊, 斎藤光和, 清水哲朗, 加藤 博, 小田切治世, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: ヒト食道癌由来培養細胞におけるヒト recombinant TNF と hyperthermia の併用療法の効果. 第48回日本癌学会総会, 1989, 10, 名古屋.
- 115) 新保雅宏, 宗像周二, 南村哲司, 饗場松年, 大西雄太郎, 宮林千春, 四柳閑郎, 阿部要一: von Recklinghausen 病に合併した十二指腸乳頭部癌の一症例. 第73回信州外科集談会, 1989, 6, 辰野.
- 116) 新保雅宏, 宗像周二, 饗場松年, 大西雄太郎, 大久保政興, 山下芳朗, 川口 誠, 佐川文明: 左上腹部打撲を契機に発見された小児脾腫瘍の一例. 第74回信州外科集談会, 1989, 12, 松本.
- 117) 森永秀夫, 浜名俊泰, 魚谷英之, 勝木茂美, 川西孝和, 広川慎一郎, 島田一郎, 笠木徳三, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 松井寿夫: 大腿骨原発悪性線維性組織球腫の転移による小腸大量出血の一例. 第44回日本大腸肛門病学会総会, 1989, 11, 東京.
- 118) 岡本政広, 山田 明, 広川慎一郎, 中村 潔, 黒木嘉人, 榊原年宏, 加藤 博, 穂苅市郎, 桐山誠一, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 噴門側胃亜全的後に発生した残胃癌の1例. 第213回北陸外科学会, 1989, 5, 金沢.
- 119) 岡本政広, 山田 明, 広川慎一郎, 黒木嘉人, 榊原年宏, 加藤 博, 穂苅市郎, 桐山誠一, 坂本隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 噴門側胃亜全適術後に発生した幽門側残胃癌の1例. 第51回日本臨床外科医学総会, 1989, 10, 神戸.
- 120) 岡本政広, 浜名俊泰, 南村哲司, 広川慎一郎, 中嶋良作, 加藤 博, 竹森 繁, 笠木徳三, 坂本隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 原因又は経過が特異なイレウス2症例の経験. 第44回日本大腸肛門病学会総会, 1989, 11, 東京.
- 121) 津沢豊一, 吉光 裕, 伏田幸夫, 大堀 功, 高森正人, 広沢久史, 黒田吉隆, 辻 政彦: 当院における腹部外傷手術例の検討. 第214回北陸外科学会, 1989, 9, 金沢.
- 122) 斎藤文良, 白崎 功, 阿部要一, 小川 淳, 五味崇行: 小児胆嚢捻転症の1例. 第50回新潟消化器病研究会, 1989, 7, 新潟.
- 123) 魚谷英之, 増子 洋, 川西孝和, 佐伯俊雄, 宗像周二, 唐木芳昭, 藤巻雅夫: 男子乳腺悪性リンパ腫を含む4重複腫瘍の1例. 第212回北陸外科学会, 1989, 2, 金沢.
- 124) 浜名俊泰, 魚谷英之, 勝木茂美, 川西孝和, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 松井寿夫: 大腿骨原発悪性線維性組織球腫の転移によ

る小腸大量出血の1例。第212回北陸外科学会，1989，2，金会，1989，2，金沢。

125) 浜名俊泰，広川慎一郎，中嶋良作，坂本 隆，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫，圓谷朗雄，青山圭一：遅発性イレウス症状を呈した興味あるシートベルト外傷の一例。第12回日本腹部救急診療研究会，1989，3，札幌。

126) 浜名俊泰，三浦二三夫，白崎 功，山下 徹，斎藤文良，斎藤壽一：手術により救命し得た激症型腸アニサキス症の一例。第8回庄内医師集談会，1989，11，酒田。

127) 山崎一麿，山岸文範，島多勝夫，沢田石 勝，鈴木修一郎，笠木徳三，山下芳朗，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫：S字状結腸狭窄によりイレウス症状を呈した下行結腸癌の1例。第214回北陸外科学会，1989，9，金沢。

128) 島崎邦彦，唐木芳昭，藤巻雅夫：ラットの実験食道癌における高ガストリン血症の影響。消化器癌の発生と進展 1：135-138，1989(プロシーディング)

129) Katoh H., Yamashita I., Takemori S., Tazawa K., Saitoh M., Saitoh T., Otagiri H., Yamada A., Shimazaki K., Suzuki Y., Kasagi T., Sakamoto T., Karaki Y. and Fujimaki M.: Clinical results of advanced esophageal carcinoma treated with hyperthermia. *HYPERTHERMIC ONCOLOGY* 1988 1:

130) Osamura R. Y., Tauchi K. Hori S., Itoh H., Tokuda Y. and Tajima T.: Immunohistochemical studies on oncogene products (c-erbB-2, EGF-receptor, c-myc) and estrogen receptors (ER) in benign and malignant breast lesions. *Modern Pathology* 2: 69A, 1989(Abstract).

131) Tauchi K., Kakudo K. and Watanabe K.: Superficial esophageal carcinoma. A report of 49 cases. *Pathology Research and Practice* 185: 160, 1989. (Abstract)

132) 長村義之，田内克典，堀 貞明，徳田 裕，田島知郎，矢内原 昇，阿部 薫：乳腺組織における oncogene product の免疫組織学的検討(1)c-myc について。第8回腫瘍マーカー研究会記録：186-187，1989。

◆ その他

- 1) 田近貞克：富山県における過去10年間(1977-1986)の消化性潰瘍手術症例の検討。とやま県医報1003：16-22，1989。
- 2) 田近貞克：消化性潰瘍の手術例は減少しつつけ

るのか？ 一富山県における消化性潰瘍手術症例数の推移より一。富山市医師会報 220：6-9，1989。

脳 神 経 外 科 学

教 授	高 久 晃
助 教	遠 藤 俊 郎
講 師	岡 伸 夫
講 師	西 嶋 美 知 春
助 手	大 辻 常 男
助 手	桑 山 直 也
助 手	栗 本 昌 紀
助 手	野 上 予 人
助 手	原 田 淳 也
医 員	赤 井 卓 一
文部技官	増 田 良 八 州 男

◆ 著 書

1) 遠藤俊郎：CEAの術式。「閉塞性脳血管障害の治療」高倉公朋監修，109-118，現代医療社，東京

◆ 原 著

- 1) 遠藤俊郎，福田 修，岡 伸夫，高久 晃：高齢者の脳梗塞症例に対する手術適応。 *Geriatric Neurosurgery* 1：69-73，1988。
- 2) 高久 晃，鈴木二郎，吉本高志，佐藤秀次：Dural AVM手術の問題点。 *The Mt. Fuji Workshop on CVD* 6：215-222，1988。
- 3) 福田 修，佐藤秀次，鈴木 尚，遠藤俊郎，高久 晃：MRIによる脳梗塞急性期例の検討。 *脳神経外科* 17：31-36，1989。
- 4) 西嶋美知春，原田 淳，野上予人，遠藤俊郎，高久 晃：難治性めまい症例に対する椎骨動脈起始部の屈曲矯正と星状神経節切除の有用性について。 *脳神経外科* 17：255-261，1989。
- 5) Iwasaki Y., Ito S., Suzuki M., Nagahori T., Yamamoto T., and Konno H.: Forebrain ischemia induced by temporary bilateral common carotid occlusion in normotensive rats. *J Neurol Sci.* 90: 155-165, 1989.
- 6) Hirasima Y., Jurkowitz-Alexander MS., Farooqui AA., and Horrocks LA.: Continuous Spectrophotometric Assay of Phospholipase A₂ Activity Hydrolysing Plasmalogens Using Coupling Enzymes. *Anal Biochem.* 176: 180-184, 1989.